

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	北上市公衆衛生組合連合会補助金(事務局業務含む)			
■評価事業コード	030300 - 022	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	01 ごみの不適正排出・不法投棄の防止		
■事業の類型	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	ごみの不法投棄対策と防止、ごみの分別徹底指導、リサイクルの推進・指導で地域の環境美化を図る。125地区公衆衛生組合が公衆衛生活動を実施するにあたり活動費として交付			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	北上市公衆衛生組合連合会事業費補助金	連合会	会議□定期総会 1回、理事会9回、研修□連合会研修会、理事研修会、集団資源回収団体説明会事業□ごみの発生抑制講座125地区□マイバッグキャンペーン1回□衛生薬剤等共同購入2回□北上市クリーン活動1回□生ごみ処理機購入助成50件□不法投棄監視パトロール 市内16地区で3回	会議□定期総会1回、理事会6回研修□ごみの分け方出し方講座63地区、理事研修7月、連合会研修会11月、集団資源回収団体説明会11月事業□春・秋清掃月間4、9月□マイバッグキャンペーン9、10月□衛生薬剤等共同購入事業2回□ ・北上市クリーン活動9月□不法投棄監視パトロール市内17ブロックで3回□生ご
02	ごみ集積所整備費補助金	地区	補助金交付予定額:1,302,000円□み集積箱等 15基×70,000円□移設・修理 5基×39,400円□被覆ネット 20枚×2,750円	補助金交付件数:39件補助金交付額:1,292,380円□み集積箱新設 18件(19基)□修理等 14件(18基)□被覆ネット 7件(9枚)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	9,843	9,998	10,145	10,135	
人件費	7,218	8,576	11,466	8,140	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	17,061	18,574	21,611	18,275	

4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	ごみの減量化・資源化の推進 (リサイクル率)	0.235	0.227	0.214	0.203	ごみ総量に対する資源ごみの量
02	衛生パトロール	50回	58回	43回	57回	地区で年3回程度のパトロール実施。
03	ごみ処理量	25,792t	25,622t	25,655t	25,490t	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

ここ数年、ごみ処理量は横ばい傾向であるが、震災以降ごみ処理量は多く、平成26年度は震災前の平成22年度比5.3%増となっている。

問題点・課題等

ごみの手数料化によりごみ処理量は手数料化前より減少したが、手数料化効果が年数の経過により薄れ、分別が甘くなってきているように見受けられ、集積所における不適正排出が目立つようになっている。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小・要改善

IV. 民間活用・協働事業化

V. 廃止・休止

VI. 完了

補足説明

公衆衛生組合連合会活動の中で、ごみ分別の周知を徹底していく。